

ふりがな 団体名	もりちくこうせいほごじよせいかい 森地区更生保護女性会
-------------	--------------------------------

森地区更生保護女性会は、平成 21 年度から継続して町内小・中学校で児童・生徒と一緒に「おはぎ」を作る活動を行っている。日頃からあいさつ運動や登下校の見守り活動を行い身近な存在である会員が学校へ出向き、子供たちと交流しながら食の伝統や命の継承について伝え、感謝する心を育む活動を続けている。学校の授業では得られない体験を提供しながら、「明るい社会づくり」と「青少年健全育成」に取り組んでいる。

活動内容等

(1) 事業の目的 及び活動の方向性	<p>子供たちが地域の方とふれあいながら、先祖にまつる行事食であるおはぎ作り体験を通して食の伝統や由来を知り、ご先祖様に感謝する心を育むとともに今の自分が存在することの奇跡を自覚するよう促す。</p> <p>コロナ禍により児童・生徒との交流機会が減っているが、学校内の消毒や花壇整備ボランティア活動を新たに開始し、学校を支援する取組を続けている。</p>
(2) 活動体制等 (連携する団体、 子供・地域住民 等の参加状況、 活動年数等)	<p>連携団体…町内小・中学校、静岡県更生保護女性連盟、地域学校協働本部、社会福祉協議会</p> <p>参加状況…令和 3 年度は 2 小学校で実施。児童 76 人、会員のべ 30 人参加。 コロナ禍により実施校が減少。(参考) 令和元年度は 6 小・中学校で実施。児童・生徒 233 人、会員のべ 86 人参加。</p> <p>活動年数…おはぎ作り交流は平成 21 年度から実施し、13 年間継続している。</p>
(3) 活動内容及 び成果	<p>小・中学校を訪問し、児童・生徒におはぎの作り方を教えている。一緒に作業することで、より身近な地域のおばさんとして子供たちとの関わりを深めているほか、対象学年に合わせて、活動の中で行事食でもあるおはぎと先祖のことや、安心して暮らせる環境が決して当たり前ではないことを伝えることで、命の大切さや感謝する心を育んでいる。</p>
(4) その他 特記事項	<p>おはぎ作り以外にも、青少年健全育成の取組として、町内中学校でのあいさつ運動、登下校時の見守り活動を行っている。</p>